

# 明治学院 プラチナカレッジ

## 第1シリーズ

2018年度よりスタートした生涯学習講座「明治学院プラチナカレッジ」。学生時代を思い出し、ふたたび幅広い学びを体験してみませんか。



## 温泉と政治

古来、日本の支配者は温泉好きだった



原 武史  
明治学院大学  
名誉教授



青木 理  
ジャーナリスト

『日本書紀』に天皇が温泉に行幸する記述があるように、日本では支配者がしばしば湯に浸かった。江戸時代には将軍が箱根や草津などの湯を江戸に運ばせ、明治以降は箱根、熱海、那須、塩原に政治家や天皇、皇族が逗留した。この講義ではまず、政治と温泉の双方に精通する青木理さんをゲストに招き、次いで古代からの温泉と政治の関係を解説します。とりわけ戦後政治と温泉の関係に力点をおきます。

🕒 講座時間（※各回18:25～19:55）

開催日	各回のテーマ／内容
第1回 5月31日(金)	<b>日本人にとって温泉とは何か</b> ゲスト 青木 理 氏 テレビやラジオなどで政局をめぐって鋭い発信を続ける一方、日本各地の秘湯を含む温泉に浸かってこられたジャーナリストの青木理さんをゲストに招き、フリートークという形式をとりつつ、日本人と温泉の関係や、政治家が温泉地に赴いたり温泉に浸かったりすることの意味について考えます。
第2回 6月7日(金)	<b>温泉と政治から見た日本</b> 古代から敗戦までの日本の歴史のなかで、天皇や将軍、藩主、首相など時の支配者が温泉をどう活用したかを概観します。
第3回 6月14日(金)	<b>戦後政治と温泉</b> 拙著『戦後政治と温泉』（中央公論新社）によりつつ、戦後の歴代首相が箱根や伊豆の温泉地を政治空間としてどう活用したかにつき解説します。

### 🕒 講座のお申込について

お申込先・お申し込み方法	<p>下記QRコードより、専用お申込みフォームにアクセスいただき、お申込みをいただくか、事務局メール宛て&lt;<a href="mailto:mpc@mguad.meijigakuin.ac.jp">mpc@mguad.meijigakuin.ac.jp</a>&gt;に以下の必要事項を明記の上、お申込ください。メールでのお申込みの場合、件名は、「2024年度明治学院プラチナカレッジ第1シリーズ申込み」としてください。</p> <p>(1) 氏名(フリガナ) (2) 住所 (3) 電話番号 (4) 年代 (5) (本学在学学生・卒業生の場合) 在学学生・卒業生である旨</p> <p>◆申込期間 5月7日(火)～5月23日(木) ※期間外の申し込みは受付できません。定員200名(先着順)</p>
受講料	1シリーズ全3回 - 3,600円 ※お申し込み後、メールで振込方法をご案内します。
問い合わせ先	【事務局】明治学院大学 学長室 社会連携課 TEL:03-5421-5247 (月～金曜日 10:00～16:00)

申込用QRコード ⇒

